

平成 29 年度 第 4 回  
国家資格 キャリアコンサルタント試験

実技試験（論述） 問題用紙

実施日 ◆平成 29 年 5 月 28 日（日）

試験時間 ◆14：30～15：20（50 分）

★注意事項★

1. 逐語記録を読み、解答用紙の問いごとに記述してください。
2. 解答用紙に受験番号・氏名を記入してください。記載漏れがあった場合は採点されません。
3. 試験中は、受験票、腕時計、筆記具（鉛筆、シャープペンシル、消しゴム）以外のもの（定規、メモ用紙、筆記用具入れ等）は机上に置かず、カバンの中などにしまってください。
4. 受験票は、机上の通路側に見えるように置いてください。
5. 試験中は、携帯電話・スマートフォンなどすべての通信機器及び電子機器は使用できません。必ず電源を切って、カバンの中などにしまってください。  
時計のアラーム等、音の出る機能も使用できません。
6. 試験中は、乱丁・落丁・印刷不鮮明に関する質問以外はお受けできません。
7. 不正行為があったときは、すべての解答が無効となります。
8. 試験終了の合図が告げられたら、直ちに筆記具を置き、監督員の指示に従ってください。
9. その他、監督員の指示に従ってください。指示に従わない場合は、失格となります。

【退席時の注意事項】

1. 試験開始後30分経過した時点で途中退出できます。途中退出する場合には、挙手し、監督員の指示に従ってください。問題用紙はお持ち帰りください。
2. 試験終了時刻5分前からは退出できません。試験終了後、監督員が解答用紙を回収しますので、着席したままでお待ちください。

- 実技試験の合格は、論述試験および面接試験の両方も合格基準に達することが必要です。
- 平成29年7月3日（予定）に、受験者全員に結果通知書を送付いたします。
- 合格者は、当協会の Web サイトに受験番号を掲載してお知らせします。  
(<https://www.icda-careerex.org/result.html>)

厚生労働大臣登録試験機関

特定非営利活動法人日本キャリア開発協会

## 設問

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅰ、Ⅱを読んで、以下の問いに答えよ（事例ⅠとⅡは、同じ相談者（CL）、同じ主訴の下で行われたケースである）。（50点）

相談者（CLと略）：A、53歳男性、妻50歳、長女20歳（大学生）、3人家族

大学卒業以来、大手機械メーカーに勤務、入社以来工場の製造部門に従事、現在は品質管理課長

キャリアコンサルタント（CCtと略）：相談機関のキャリアコンサルティング専任社員

### 【事例Ⅰ・Ⅱ共通部分】

CL1：会社から出向の話があって、気持ちの整理がつかないので相談にきました。

CCt1：気持ちの整理がつかない。どういうことか話していただけますか。

CL2：はい、2日前に部長から関連会社の営業に出向してほしいとの話がありました。その時にすごく動揺してしまいました。

CCt2：突然の話だったのですか。

CL3：そうですね。私はこれまで、製造部門一筋で、製造ライン、保守、部品調達、品質管理などを経験してきました。それなりに31年間それぞれの部署で一生懸命やってきました。まあ、年齢も年齢なので、これからのことを考えないといけないと漠然とは思っていましたが、出向ということは全く予想していませんでした。

CCt3：出向先の会社のことはよくご存知なのですか。

CL4：いいえ、ほとんど知らないです。でも、元々「関連会社への出向」には良いイメージがありません。

### 【事例Ⅰ】

CCt4：そうすると、今回の出向の話を断るかどうかわ迷っておられるということですね。

CL5：断るかどうかわ、というか……。どう考えればいいのか混乱しています。これからの自分の働き方とかを考えないといけないと思いますし、受け入れ先の会社の意向も気になります。

CCt5：この話を断ることはできるのですか。

CL6：会社の命令ですから難しいと思います。いやなら、会社をやめて転職するしかないのでしょうかね。

CCt6：転職の場合、何か心当たりはあるのですか。

CL7：いえいえ、今までこの会社一筋で、転職の経験もないので、どんなふうを探していけば良いのか全くわかりません。ただ、出向先に自分がどう評価されるのかは気になります。

CCt7：Aさんの年齢での転職は厳しいと思います。今の収入を維持するのは難しいですし、決まるのにも長くかかったりします。出向は良い選択だと思いますが、いかがですか。

CL8：そうですか……。でも、何かまだ心に引っかかるものがあります。

（後略）

### 【事例Ⅱ】

CCt4：先ほど出向の話を聞いた時、すごく動揺したと言われていましたが、その時のことをもう少し詳しく教えていただけませんか。

CL5：部長に「関連会社で営業をしてもらおう。」と言われたときに、急に惨めな気持ちが湧いてきて、何も言えなくなってしまいました。

CCt5：その「惨め」というのはどういうことですか。

CL6 : その時、10年ぐらい前の私の元上司のことを思い出してしまいました。その元上司も同じように関連会社の営業に出向しました。その頃私は部品調達課だったのですが、その元上司が何度も営業に来て、昔の部下の私たちに、自分に発注するのが当然のように振る舞っていました。それを見た時の気持ちが蘇ってきました。

CCt6 : その時の惨めな気持ちというのはどういう意味があるのですか。

CL7 : その元上司を見ていて、自分の実力ではなく、元の組織に依存しているように見えて、出向した上司の姿が惨めに見えました。自分はいはなりたくないとも思いましたね。

CCt7 : その思いが今回の出向の話と繋がるということですか。

CL8 : そうですね。受け入れ先の会社が、私自身ではなくて、今の会社に繋がる私を受け入れようとしているのではないかと思ってしまったのかもしれませんが。

CCt8 : 関連会社への出向をそのように見ておられるのですね。

CL9 : そうですね。

(後略)

※以下の各問いに対する解答について字数に制限はありません。ただし、解答は全て解答用紙の行内に記入してください。行外および裏面に記述されたものは採点されません。

[問い 1]

事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事例ⅠとⅡの違いを下記の4つの語句(指定語句)を使用して解答欄に記述せよ(同じ語句を何度使用しても可。また語句の使用順は自由)。(15点)

指定語句

主訴 経験 問題解決 自己探索

[問い 2]

事例ⅠのCCt7と事例ⅡのCCt4、CCt6のキャリアコンサルタントの応答が、相応しいか、相応しくないかを考え、「相応しい」あるいは「相応しくない」のいずれかに○をつけ、その理由も解答欄に記述せよ。(15点)

[問い 3]

事例Ⅰ・Ⅱ共通部分と事例Ⅱにおいて、キャリアコンサルタントとして、あなたの考える相談者の問題と思われる点を解答欄に記述せよ。(10点)

[問い 4]

事例Ⅱのやりとりについて、あなたなら今後どのようなやりとりを面談で展開するか、具体的に解答欄に記述せよ。(10点)



設問

[問い 1]

---

---

---

---

---

---

[問い 2]

事例Ⅰの CCt7 (相応しい・相応しくない)

理由：

---

---

事例Ⅱの CCt4 (相応しい・相応しくない)

理由：

---

---

事例Ⅱの CCt6 (相応しい・相応しくない)

理由：

---

---

[問い 3]

---

---

---

[問い 4]

---

---

---

---

---